

# 市議会報告

9月議会が閉会しました。最終日には、市長より提案された議案や市民から提出された請願、会派から出された意見書の採決が行われました。各会派の賛否については下表の通りです。



## 9月市議会での主な議案や請願に対する賛否 ○…賛成 ●…反対

	共産党	自民党	くまもと未来	市民連合	公明党	自由ク	日本教育
2012年度一般会計補正予算	●	○	○	○	○	○	○
2011年度決算（公営企業会計を除く）	●	○	○	○	○	○	○
熊本市火葬場条例の改正	●	○	○	○	○	○	○
熊本市立学校施設使用条例の改正	●	○	○	○	○	○	○
特定検診の無料化などを求める請願	○	●	●	●	●	●	●
後期高齢者医療制度の速やかな廃止を求める請願	○	●	●	●	●	●	●
ホテルと地下水を守るまちづくりに関する請願	○	●	●	●	●	●	●
年金の拡充を求める請願	○	●	●	●	●	●	●
龍田出張所の総合出張所への拡充を求める請願	○	●	●	●	●	●	●
陸上自衛隊の増員と防衛予算増額を求める意見書	●	○	○	○4名 ●4名	○	○	○
立野ダム建設推進を求める意見書	●	○	○	○4名 ●4名	○	○	○

- ◆ 熊本市立学校施設使用条例の改正…五福小学校のプール開放期間について10月から6月までの利用を中止するための条例改定
- ◆ 熊本市火葬場条例の改正…熊本市火葬場に指定管理者制度（民間などに運営を委託する制度）を導入するための条例改定

日本共産党 市議会だより

発行：日本共産党熊本市議団

ますだ牧子 上野みえこ なすまどか

熊本市中央区手取本町1-1 議会棟 ホーム：<http://www.jcp-kumamoto.com/>

NO. 820

2012年10月7日

電話 328-2656

FAX 359-5047

メール：[kumamsu@gamma.ocn.ne.jp](mailto:kumamsu@gamma.ocn.ne.jp)

## 補正予算に対する討論

### 災害関連の予算

被災者の実態からみれば不十分であり、住宅再建や農業被害（ハウス被害などは補助が少なく農家の負担が重くなっています）などへの市独自の支援制度の創設を求めました。

### 生活保護に関わる職員増員経費

生活保護世帯が増加するなかで、今回の増員を凶ったとしても配置基準を満たしません。職員のさらなる増員を図ること、保護行政は、専門性が求められる職場であることから正職員の配置を行うよう求めました。

## 2011年度決算に対する討論

⇒裏面で特集しています。ご覧ください。

（控室から）  
**決算委員会の活性化を！** 益田牧子  
 市庁舎2階を約1.4億円の予算で改修。予算決算委員会室、議運・理事会室と議会図書室などが新設され、9月議会から、使用されました。議会活性化が目ですが、予算決算委員会室での実質的な補正予算、決算審査は、6、7日の総括質疑、14日の締めくくり質疑だけでした。会派の人数で持ち時間が決まらるため、日本共産党は、総括質疑25分、締めくくり質疑も、1会派15分に過ぎず、これでは、問題点を正すことはできません。更に問題なのは、昨年から、決算審査が、各常任委員会に任されることになり、実質審査時間が大きく減少したことです。  
 従来、決算審査は、全議員が一般会計・特別会計と公営企業（市民病院、上下水道、交通事業）の2つに分かれ、教育委員会、都市建設局など局ごと、企業ごと自由に発言で、審査をしてきました。私たち議員にとっても、市政の全体を見る良い機会でした。決算審査を通して、就学援助制度の改善（所得基準を明記）、10トン以下水道料金の引き下げ、国保料の低所得者減免などを提案し、改善してきました。  
 私は、予算決算委員会理事として、決算重視の立場から、従来通りの審査を求めましたが、多数決で否決されてしまいました。諦めないで、予算決算委員会の活性化を求めて頑張りたいと思います。

2011年度決算に対し、上野みえこ議員が反対討論

# 政令市移行や大型開発には巨額な投資をする一方で、福祉や教育は切り捨て

## 政令市移行に50億円、しかし遠い区役所・住民サービスは不便に！

2012年4月の政令市移行の準備年度でした。区役所等ハード整備に用地費含め約31億円、情報システム改修関連約19億円など、政令市移行に50億円を超える莫大な費用が使われました。

一方、無理な合併による政令市移行であったために、中央区を除けば、区役所が不便なところになり、政令市になってむしろ「不便」の声が多く聞かれます。北区・龍田出張所をはじめ、出張所機能を拡充し、身近なところで住民サービスが提供できるようにすべきです。

## 211億円もつぎ込んだ駅前東A地区再開発「森都心プラザ」 今後も、行詰まった「花畑・桜町再開発」のムダ使いに固執！

駅前東A地区再開発事業「森都心プラザ」が、新幹線開業の1年後、2012年3月にグランドオープンしました。事業費はどんどん膨れて、最終的に211億円でした。

このような大型ハコモノは、建設費だけでなく、毎年維持費が数億円かかってきます。

### 【政令市移行関連事業】

区役所整備	28億1,600万円
土木センター整備	2億4,000万円
情報システム改修	18億7,600万円
その他	1億8,700万円
<b>合計</b>	<b>51億9,600万円</b>

その他、政令市移行に関連して、PR経費・カウントダウンイベント・シンポジウム開催などに、3,000万円近く使われています。

### 【最近オープンした大型ハコモノ】

施設名	開設年度	建設費(円)	年間維持費
城彩苑	H22	24億	1億
森都心プラザ	H23	61億	5億

しかも、行詰まってすすまない花畑町や桜町の再開発事業は、毎年補助金を出し続け、事業推進に固執しています。

## 医療・福祉に冷たい「有料化」や「サービス切捨て」

### ■ 有料化されたガン検診

#### 受診率はますます低下

各種ガン検診の受診率目標は「50%」です。ところが、昨年と比べても受診率の減っているものが多く、目標値には全く届きません。直ちに検診の無料化を進めるべきです。

#### 【ガン検診受診率・目標と実績(%)】

(ガン)	(目標・H24)	H22	H23
肺がん	50%	14.3	13▲
胃がん	50%	6.1	5.7▲
大腸がん	50%	11.2	12.8
乳がん	50%	18.9	19.4
子宮がん	50%	23.9	23.5▲

### ■ 「鍼灸マッサージ」への助成

予算の1割が不用額\*です。健康増進の意味から現行「年30回」を「年60回の利用」へ戻すべきです。

## 教育予算を拡充して、子どもたちが安心して学べる教育に！

### ■ 奨学金制度の拡充を！

不況で就学困難な生徒も増える中、奨学金事業は、年度途中で半分に減額され、最終的には約200万円もの不用額\*が出ています。

### ■ 次々と減額されてきた

#### お粗末な「敬老祝い品」事業

政令市で実施している18市のうち、12市が「祝い金」です。金額も、100歳以上はほとんど1万円以上で、熊本市のように2,700円の粗品というところはありません。しかも、少ない予算985万のうち250万円が不用額\*です。他の政令市にならって「祝い金」へと戻し、金額も他都市に遜色ないよう拡充すべきです。

#### 【削減された熊本市の敬老祝い品事業】

(年齢)	H15	H16	H20	H24
80歳	3,000	3,000	2,700	1,000
88歳	3,000	3,000	2,700	2,700
100歳	5万	3万	2.7万	2.7万
100以上	3,000	3,000	2,700	2,700

年度途中の家計急変への対応は、年間たったの2名でした。基準を県同様にして借りやすくすることや給付型奨学金の検討も必要です。

\*文中の「不用額」とは、予算を使い残した分です。